

令和元年9月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,599,049</b>	<b>202,996</b>	<b>1,189,662</b>	<b>45.8%</b>	<b>1,409,387</b>		
1. 営業収益	2,258,690	197,550	1,163,710	51.5%	1,094,980		
1. 給水収益	2,229,440	197,042	1,136,375	51.0%	1,093,065		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	508	27,335	93.5%	1,915		
2. 営業外収益	340,220	5,307	25,812	7.6%	314,408		
3. 特別利益	139	139	139	100.2%	△ 0		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,690,541</b>	<b>160,039</b>	<b>593,024</b>	<b>22.0%</b>	<b>2,097,517</b>	<b>886,152</b>	<b>32.9%</b>
1. 営業費用	2,469,885	97,428	492,554	19.9%	1,977,331	785,683	31.8%
1. 原水及び浄水費	505,430	31,008	184,705	36.5%	322,725	322,116	63.7%
2. 配水費	374,300	34,486	139,116	37.2%	235,184	185,043	49.4%
3. 給水費	112,081	11,692	51,984	46.4%	60,097	64,042	57.1%
4. 受託工事費							
5. 業務費	164,244	13,939	67,698	41.2%	96,546	153,991	93.8%
6. 総係費	123,993	6,304	49,050	39.6%	74,943	60,492	48.8%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969	62,576	100,254	50.1%	99,715	100,254	50.1%
3. 特別損失	687	34	215	31.3%	472	215	31.3%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,087,479</b>	<b>1,037</b>	<b>37,451</b>	<b>3.4%</b>	<b>1,050,028</b>		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866		31,489	38.9%	49,377		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	108,404				108,404		
5. 加入金	9,376	1,037	5,962	63.6%	3,414		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>2,525,302</b>	<b>233,806</b>	<b>448,106</b>	<b>17.7%</b>	<b>2,077,196</b>	<b>1,041,974</b>	<b>41.3%</b>
1. 建設改良費	1,522,429	36,079	101,860	6.7%	1,420,569	695,727	45.7%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059		
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721	5,173	5,173	4.9%	100,548	61,247	57.9%
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,346,294	29,537	95,317	7.1%	1,250,977	630,965	46.9%
6. 管理施設整備費	2,055	1,369	1,369	66.6%	686	2,738	133.2%
7. 消防設備整備費	2,300				2,300	778	33.8%
2. 企業債償還金	702,873	197,726	346,246	49.3%	356,627	346,246	49.3%
3. 長期貸付金	300,000						
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,968</b>	<b>2,514</b>	<b>14,409</b>	<b>30.0%</b>	<b>33,559</b>	<b>14,409</b>	<b>30.0%</b>
①有収水量	7,779,100	694,116	3,966,429	51.0%	3,812,671		
②供給単価	286.59	283.87	286.50	100.0%	0.10		
③給水原価	345.78	230.52	149.46	43.2%	196.32		
<b>人件費</b>	<b>237,115</b>		<b>87,600</b>	<b>36.9%</b>	<b>149,515</b>		
1. 収益の収支	193,023		68,454	35.5%	124,569		
1. 職員給与費	192,901		68,454	35.5%	124,447		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	44,092		19,146	43.4%	24,946		
* 職員給与費	236,993		87,600	37.0%	149,393		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%				6.0%		
2. 全職員	10.6%				7.7%		

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>46,693,251</b>	<b>46,789,174</b>	<b>95,922</b>	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,130,168</b>	<b>3,153,593</b>	<b>23,425</b>	
1. 現金預金	2,628,502	2,791,779	163,277	
2. 未収金	450,396	238,745	△ 211,650	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	35,597	1,150	
5. 前払費用・前払金	16,824	47,478	30,653	・工事前払金等
6. その他		39,994	39,994	・仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>563,515</b>	<b>563,515</b>	
1. 営業費用		463,061	463,061	
2. 営業外費用		100,254	100,254	
3. 特別損失		199	199	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,465,157</b>	<b>682,862</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,719,131</b>	<b>11,719,131</b>		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
<b>F. 流動負債</b>	<b>929,242</b>	<b>471,489</b>	<b>△ 457,753</b>	
1. 企業債	697,683	351,437	△ 346,246	・償還元金
2. 未払金	216,415	33,002	△ 183,414	
3. 前受金	26	34	8	
4. 引当金	14,621		△ 14,621	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	87,016	86,520	
うち仮受消費税		86,498	86,498	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>10,236,815</b>	<b>10,273,825</b>	<b>37,009</b>	
1. 長期前受金	10,236,815	10,273,825	37,009	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* 〃 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,683,621</b>	<b>10,683,621</b>		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>237,472</b>	<b>237,472</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,103,606</b>	<b>1,103,606</b>	
1. 営業収益		1,079,534	1,079,534	
2. 営業外収益		23,942	23,942	
3. 特別利益		129	129	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,465,157</b>	<b>682,862</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.28	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	82.42	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	208.68	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	74.48%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.36%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	667.77%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	592.12%	=現金預金÷流動負債	

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 令和元年9月期 業務実績報告書（水道管理課）

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,413	182,749	182,300	182,981	449	△ 232
2 調定水量	m <sup>3</sup>	689,854	3,940,002	3,945,000	3,979,357	△ 4,998	△ 39,355
3 調定料金(税抜)	円	182,329,559	1,051,476,760	1,050,000,000	1,059,733,848	1,476,760	△ 8,257,088
4 口振加入件数	件	25,080	150,852	—	151,001	—	△ 149

### 2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,822	—	79,842	△ 1,020
6 給水件数	件	30,264	—	30,282	△ 18
7 開栓処理件数	件	204	1,581	1,492	89
8 閉栓処理件数	件	244	1,485	1,452	33
9 給水工事設計審査	件	56	412	409	3
10 給水工事竣工検査	件	75	449	464	△ 15
11 経年メーター交換	件	171	3,499	2,821	678
12 メーター口径変更	件	0	37	30	7
13 月末停止件数	件	3	111	107	4

### 3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	210,772,896円	81.44%	212,285,475円	81.46%
15 過年度分	4,989,794円	97.36%	5,449,325円	97.18%
16 計	215,762,690円	—	217,734,800円	—

### 4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
17	8	15	12	13	9	8	14	6	102	121	223

### 5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他					
	6 / 8	62 / 67										
入札件数	6 / 8	62 / 67	6 / 7	34 / 38	0 / 0	7 / 7	0 / 1	3 / 4	0 / 0	18 / 18	0 / 0	0 / 0
契約締結	一般	3	17	3	17	0	0	0	0	0	0	0
	指名	1	36	1	12	0	7	0	0	0	17	0
	随契	2	9	2	5	0	0	0	3	0	1	0
	合計	6	62	6	34	0	7	0	3	0	18	0

《中止 当月 0件 / 累計 1件》《不調 当月 2件 / 累計 5件》《取消 当月 0件 / 累計 0件》《未契約 0件》

### 6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内 容
竣工検査	9	3	工事
中間検査	7	3	工事
合計	16	6	

### 7 主な行事・会議

会議名	日時	内 容
部長等連絡調整会議	2 日	9月 事業打合せ等
安全衛生委員会	10 日	第6回 秋の交通安全市民総ぐるみ運動について 他
水道ブースター会議	13 日	平成30年度決算について
給水拠点設置訓練	20 日	9月期 津山総合支所
所内連絡会議	19 日	8月期 各種経営分析等
例月出納検査	30 日	8月期 例月出納検査
指名委員会	3・17・30 日	第15回・第16回・第17回
入札	5・11・19 日	3件・2件・3件
緊急メールの発信	— 日	漏水 16、破損 4、取停 6、水質 1、訓練 1

## 特 記 事 項

### 1. 9月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は197,042千円(税込)で、前月期に比べて3,078千円の減、予算執行率51.0%(前年度51.4%)、対前年同月比(累計)では8,177千円の減となっています。営業収益は手数料収益508千円を含む197,550千円、営業外収益は事務手数料3,908千円、水道管破損等による補償金1,399千円等で5,307千円となりました。

当期の営業費用は97,428千円を執行し、累計額は492,554千円、予算執行率(累計)19.9%(前年度19.1%)となりました。特別損失は34千円を執行しております。

##### イ 資本的収支

当期の収入は加入金1,037千円を執行し、累計額は25,284千円、予算執行率(累計)2.2%(前年度1.5%)となりました。

支出は、浄水施設整備費5,173千円、配給水施設整備費29,537千円、企業債償還金197,726千円を執行し、累計額412,951千円、予算執行率(累計)16.6%(前年度18.4%)となりました。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,514千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 登米市議会定例会9月定期議会が開会

9月6日(金)に令和元年登米市議会定例会9月定期議会が開会しました。水道事業所では、「平成29年度登米市水道事業会計継続費精算報告について」「平成30年度登米市水道事業会計決算認定について」「令和元年度登米市水道事業会計補正予算(第1号)」「登米市水道事業給水条例の一部を改正する条例について」の4件を提案しました。

決算については、決算審査特別委員会において認定され、その後の本会議(10月1日)でも認定されました。条例改正、補正予算についてもそれぞれ原案通り可決されました。

また、建設部より「登米市下水道事業に係る地方公営企業法の規定の全部の適用及び水道事業との組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」の提案があり、原案通り可決されました。令和2年4月1日から水道事業と下水道事業が組織統合することになります。

#### (2) 総務企画常任委員会

9月11日(水)・17日(火)に総務企画常任委員会が開催されました。11日の委員会では議案に係るものとして平成30年度に完了した継続費に係る事業の精算報告と給水条例の一部改正、平成30年度に放棄した債権について、その他として上下水道事業の組織統合について説明を行いました。継続費は、下り松ポンプ場の整備事業で平成27年度から平成29年度までの継続事業としていたものですが、一部平成30年度へ繰越していた機械電気設備工事が完了し、平成30年4月から供用を開始しました。給水条例の一部改正は、水道法の改正により給水装置工事事業者の指定の有効期間が定められ、5年ごとの更新制が導入されたことなどに伴うものです。債権放棄は、平成30年度は51件で31万円となりました。

17日には平成30年度決算及び保呂羽浄水場再構築事業について説明を行いました。平成30年度決算では当年度純利益6,296万円を計上しております。保呂羽浄水場再構築事業は、令和元年7月に終了した基本設計等業務の概要について説明を行いました。

#### (3) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

水道事業所では、包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、第三者による評価を実施する外部評価委員会を設置しており、9月10日(火)に登米市水道事業料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。

委員から受託業者に対して、詳細な業務内容について聞き取りを行い「トラブルがありマイナス評価はあるが、その後の対応を鑑み、概ね良好と認める」との評価をいただきました。



会議の様子

# 令和元年9月期 業務実績報告書（水道施設課）

## 一般事項

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	810,790	4,996,873	4,899,380	4,978,643	97,493	18,230
総配水量	754,318	4,646,532	4,561,800	4,582,199	84,732	64,333
1 有効水量	750,018	4,254,254	4,270,050	4,284,670	△ 15,796	△ 30,416
(1) 有収水量	694,116	3,966,429	3,970,200	4,004,906	△ 3,771	△ 38,477
(2) 無収水量	55,902	287,825	299,850	279,764	△ 12,025	8,061
2 無効水量	4,300	392,277	291,750	297,529	100,527	94,748
(1) 漏水量	3,170	390,161	288,000	293,634	102,161	96,527
(2) その他無効水量	1,130	2,116	3,750	3,895	△ 1,634	△ 1,779
3 有収率	92.02%	85.36%	87.03%	87.40%	-1.67%	-2.04%

※ 当月期の最大配水量は、10日（火）に記録した【26,367m<sup>3</sup>】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059					66,059	0.00%
ウ 浄水施設整備事業	11	105,721	5	56,074	1	5,173	44,474	57.93%
オ 配給水施設整備事業	76	1,309,798	25	535,647	12	60,162	713,989	45.49%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

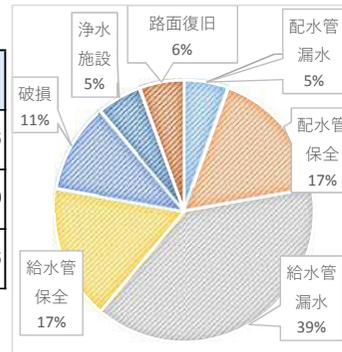
#### ◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l 以上

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.76	0.34	0.45	0.52	0.45
最高	0.83	0.56	1.10	0.60	0.55
最低	0.72	0.20	0.10	0.50	0.20

#### ◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施設	路面 復旧	その他	計
月計	2	6	14	6	4	0	2	2	0	36
累計	22	49	69	21	17	10	4	18	0	210
前年同 月累計	46	70	55	11	11	11	6	16	0	226



## 特記事項

### 1. オイルフェンス設置訓練を実施しました

9月30日(月)、下り松取水塔において、オイルフェンスの設置訓練を実施しました。訓練は、北上川上流で自動車事故が発生したことにより、オイルが河川内に流入したことを想定し、オイルが混じった水を取水口に入れないことを目的として実施しました。訓練には、職員及び浄水施設等管理運転業務受託者など約30名が参加しました。

訓練は、川岸でオイルフェンスを連結しボートで移動しながら100mのオイルフェンスを設置しました。

参加した職員は「訓練では大きな問題もおきず、順調に進んだように思う。訓練をかさね方が一の事態に備えたい」と意識を新たにしていました。

市民生活に欠かすことが出来ないライフラインである水道施設を運用するにあたり、風水害等の自然災害や油等の水質事故、さらにテロ等の社会的災害に対して、不断の対策が必要となってきています。水道事業所では、定期的実践的な訓練を行い、危機管理体制の確認と職員の対応能力の向上を図ります。



オイルフェンスを設置している様子



モーターボートでオイルフェンスを設置している様子

### 2. 水道水質検査の内部精度管理実施について

水道事業所では、市民に安全で良質な水道水をお届けするため、「登米市水道水質検査計画」に基づき水質基準項目51項目中46項目について、自己検査を行っています。

近年、水道水質の安全性に対する関心が高まっており、水質検査の透明性と正確さの確保が求められています。

そのことから、検査結果が、常に一定の水準が維持されているか測定値の妥当性を評価するため、定期的に内部精度管理を実施し信頼性確保に取り組んでいます。

さらに、国（厚生労働省）が実施している外部精度管理へ毎年参加し、外部からの客観的な評価を通してより高い分析精度の向上に努めています。

今後も、水道法で定められた水質基準を遵守し、安全で安心な水の供給に努めていきます。

また、水質検査計画及び水質検査結果については、ホームページ等で公表し、水質検査結果を次年度の水質検査計画に反映させていきます。



手順について確認している様子

### 3. 令和元年9月の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、漏水調査を実施しています。9月末の漏水調査の結果は、9件9,740m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しました。9月末での有収率は85.36%となっています。継続的に漏水調査を実施しながら、老朽管の更新工事を進め、令和元年度末で、計画有収率87.0%を目指します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	0	0.000
	付属施設	0	0.000
	給水管	9	9.740
	計	9	9.740